

モリコー製品の歩み

国産第一号の自動押印機

モリコーの前身は、1924年に森幸太郎が創業した森幸電機製作所。当初は、当時の逓信省（後の郵政省、現日本郵便）に通信機や電話機用の部品を納入していました。昭和の初め頃に郵便業務の機械化が図られた際、その縁で逓信省より要請を受けて開発し、1932年に完成したのが「**森幸式自動押印機**」です。その後株式会社森幸製作所と改組し、1947年には**旧郵政省第一号の指定工場**となりました。

この自動押印機は郵便局の現場の声を聞きながら改良を重ね、1954年に開発された卓上押印機は旧郵政省の指定機として全国の郵便局に配備されました。その後「**書状自動押印機 G3**」が日本全国の郵便局で標準機として採用されたほか、2006年にはインクジェット自動押印機が東京の主要郵便局に設置されるなど、郵便局の現場で高い評価をいただいています。

郵便局の扱う郵便物は、厚みの異なる多様なものが混在しています。それを1枚ずつ正確にフィードする仕組みを可能にしたのは、弊社が創業以来手がけてきた歯車の技術による**分離機構**です。

▶▶▶ 郵政局スペックシリーズ



国産第一号の自動押印機。電気を使わず、ハンドルを手動で回して1枚1枚消印を押すというものでした。



書状自動押印機 G3。定形サイズの封書とハガキが混合していても同時に押印できる点が画期的と評価されました。

- ▶▶▶ 会社案内
- ▶▶▶ 会社概要
- ▶▶▶ 会社沿革
- ▶▶▶ お取引先様一覧
- ▶▶▶ 所在地
- ▶▶▶ 海外販売店
- ▶▶▶ モリコー製品の歩み

搬送機付き捺印機「スタンピー」

1957年の食品衛生法改定や1960年の薬事法制定の影響もあり、食品や医薬品、化粧品などの商品パッケージに製造年月日などを印字するニーズが増加。それに応える形で生まれたのが**スタンピーシリーズ**です。

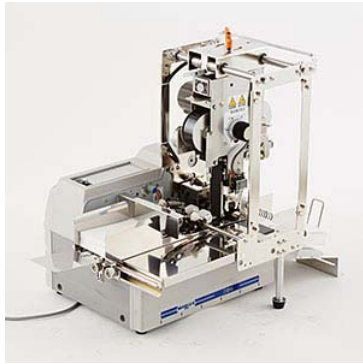
スタンピーシリーズは、賞味期限や製造年月日などの日付やロット番号などの文字を商品の梱包資材などに印字します。その大きな特長は、弊社の誇る**分離技術**による搬送機能を搭載していること。印字する用紙をまとめてセットするだけで、自動的に1枚1枚“分離”し文字を印字することができます。

スタンピーシリーズは、製造ライン上に設置するインラインタイプ、アウトラインで使用するスタンディング式、本体サイズ50cm四方程度の卓上型まで、さまざまなバリエーションがラインナップ。インク+活字、インクリボン+活字、インクリボン+サーマルプリンタなど印字タイプも豊富で、さまざまな被押印物やワークに対応します。



スタンピーシリーズ M-570PC

▶▶▶ 搬送機付き捺印機 スタンピーシリーズ



スタンピーシリーズ ドライブプリンターDP-4



スタンピーシリーズ サーマルプリンターX-4R

産業用インクジェットプリンター「ヘリオス」シリーズ

弊社は日本にインクジェット技術が入ってきた当初から海外製品の代理販売を手がけてきました。その経験を生かして、2005年に米国HP社と技術ライセンス契約を行い、**産業用インクジェットプリンター「ヘリオスシリーズ」**を開発しました。ヘリオスシリーズは、ベルトコンベアーなどで搬送される段ボール箱やその他浸透性のある素材に印字できる簡易小型プリンター。カートリッジタイプのインクを採用しているため、作業中もインク交換時もインク漏れによる汚れがない上、インク詰まりの心配がなくメンテナンスフリー。大幅なコストダウンを可能にしました。

さらに、2017年より速乾タイプの「ヘリオスドライ」に**エコフレンドリーなインクを採用**。従来の速乾インクは有機溶剤を含んでいましたが、ヘリオスドライではこれを含まないインクを使用しています。**環境に優しく、食品や化粧品、医薬品などの包装材にも安全で安心してご利用いただけます。**

産業用インクジェットプリンター ヘリオスシリーズ



化粧箱等に捺印可能なDODタイプの速乾性のインクジェットプリンター。常識を覆すメンテナンスフリーで、低価格を実現しています。

※DOD (Drop On Demand)

常にインクを噴射し続ける連続型 (CIJ, Continuous inkjet) 方式とは違い、印字に必要なときに必要なインクだけが噴射される方式。DOD方式は小型化、マルチヘッド化がしやすいなどのメリットがあり、主に外装などの大きな文字の印字に使用されます。

検査機能付きレーザー捺印装置「LCシリーズ」

創業以来の歯車技術を応用した弊社の分離機構と、レーザー印字機能を組み合わせて、2010年に完成したのが「検査機能付きレーザー捺印装置 LCシリーズ」。カートンや成形箱に対し、レーザーマーカで印字と検査までを同時に行える装置です。LCシリーズはすべて**GS1-RSSコード (※) の印字に対応しているのが特長**です。

文字検査機能付きカートンレーザー捺印装置



インライン レーザーマーカ―捺印検査装置LCMC-2015
型。成形箱への捺印検査が可能で、GS1印刷のコストを削減します。また、ワークを停止せずに捺印できますので能力アップに対応できます。

※GS1-RSSコード

2016年6月に厚生労働省の「医療用医薬品へのバーコード表示の実施要項」が一部改訂され、すべての医療用医薬品にGS1-RSSコードの表示が必須となりました。2020年度末までには、製造番号や有効期限などの可変情報を含む新バーコードの表示が義務化されます。



GS1-RSSコード印字例

株式会社 **モリコー**

御社のご要望にお応えする機種を選定、また各種オリジナル機的设计、オーダーのご相談を承ります。
お気軽にお問い合わせください。

株式会社 **モリコー**

東京都目黒区目黒本町2-16-14 (TEL) 03-3711-5511 (代表) (FAX) 03-3711-5517

✉ メールでのお問い合わせ [プライバシーポリシー](#)

Copyright© MORICO Co., Ltd. All rights reserved.